

## 目的

第4次日野市学校教育基本構想「すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来をつくっていく力」の教育理念及び子供と大人の10+の姿の実現

## 目標

幼児一人一人が自分のやりたいことや興味のあることを十分楽しむ経験を基に、いろいろな遊びや人との関わりの楽しさが味わえるような教育活動を行う。

## 具体的な活動内容

- ① 幼児の興味・関心に基づいた遊びや活動の提示
- ② 学年ごとの役割を意識した遊びや活動の提示
- ③ 異年齢（3・4・5歳児、未就園児）での触れ合い活動や合同活動
- ④ 他園児（第七幼稚園、近隣保育園）との交流活動・合同活動
- ⑤ 小学生との交流活動
- ⑥ 地域の方や保護者との触れ合い活動

## 期間

令和7年4月～令和8年3月

## 中間報告

4・5歳児合同保育を進める中で、幼児の興味関心に沿った遊びや4・5歳児と一緒に楽しめる遊びを意図的に提示している。自分のやりたいことを見つけ楽しむ姿や4・5歳児と一緒に遊ぶ姿が見られてきている。

他園、小学校との交流活動を重ねることで、新しい場面、初めての活動への不安感や抵抗感が薄れてきた。

## 成果○と課題●

○自分を表出にくかった幼児もやりたいことをみつけ、自分なりの動きや言葉を表出するようになった。

○4・5歳児が日々の保育や活動を積み重ねてきたことで仲間として関係性が深まり、遊びの幅が広がった。

○七幼との交流活動を進める中で、自園だけでは経験できない大人数での活動、集団での活動を経験することができた。また、交流を重ねてきたことで、七幼の友達に親しみもってきている。

●園内でも合同での保育の中での遊びの提示の仕方、環境構成の仕方にはたくさんの配慮が必要である。

●他施設との交流において、ねらいや援助方法を共通にする難しさがある。

●特別な支援を要する幼児は交流時にやや不安定になる様子が見られる。